

協会けんぽ（医療分）の2024(令和6)年度決算を足元とした 収支見通し（2025(令和7)年9月試算）について（試算結果）

協会けんぽ（医療分）の2024（令和6）年度決算を足元とした 収支見通し（2025（令和7）年9月試算）について（試算結果）

1. 試算結果の概要（P 2～26）

2. 試算結果（P27～146）

における各ケースの試算結果の掲載ページは以下の通り。

- 赤(ケースⅠ～Ⅲ) : ① 協会けんぽにおける実績を踏まえた試算
- 青(ケースⅠa～Ⅲe,A,B) : ② 幅を持った試算

			75歳未満一人当たり医療給付費の伸び（％）											
ケース			0.5%	1.0%	1.4%	1.9%	2.3%～ 2.4%	2.8%	3.2%～ 3.3%	3.7%	4.2%	4.6%	5.1%	
電 金 上 昇 率 （％）	A	2.3	1. P7～10 2. P42～62					A(a) 医 2.8 賃 2.3 差 0.5	A(b) 医 3.3 賃 2.3 差 1.0	A(c) 医 3.7 賃 2.3 差 1.4	A(d) 医 4.2 賃 2.3 差 1.9		A(e) 医 5.1 賃 2.3 差 2.8	
	I	1.8	1. P11～14 2. P63～83					I a 医 2.3 賃 1.8 差 0.5	I b 医 2.8 賃 1.8 差 1.0	I c 医 3.2 賃 1.8 差 1.4	I d 医 3.7 賃 1.8 差 1.9		I e 医 4.6 賃 1.8 差 2.8	
	II	1.4	1. P15～18 2. P84～104					II a 医 1.9 賃 1.4 差 0.5	II b 医 2.4 賃 1.4 差 1.0	II c 医 2.8 賃 1.4 差 1.4	II d 医 3.3 賃 1.4 差 1.9		II e 医 4.2 賃 1.4 差 2.8	
	III	0.9	1. P19～22 2. P105～125					III a 医 1.4 賃 0.9 差 0.5	III b 医 1.9 賃 0.9 差 1.0	III c 医 2.3 賃 0.9 差 1.4	III d 医 2.8 賃 0.9 差 1.9		III e 医 3.7 賃 0.9 差 2.8	
	B	0.0	B(a) 医 0.5 賃 0.0 差 0.5	B(b) 医 1.0 賃 0.0 差 1.0	B(c) 医 1.4 賃 0.0 差 1.4	B(d) 医 1.9 賃 0.0 差 1.9		B(e) 医 2.8 賃 0.0 差 2.8						
			1. P23～26 2. P126～146					1. P3～6 2. P28～41						

1. 試算結果の概要

- 赤(ケースⅠ～Ⅲ) : ① 協会けんぽにおける実績を踏まえた試算
- 青(ケースⅠa～Ⅲe,A,B) : ② 幅を持った試算

※掲載ページ (P2～26)

			75歳未満一人当たり医療給付費の伸び（％）										
ケース			0.5％	1.0％	1.4％	1.9％	2.3％～ 2.4％	2.8％	3.2％～ 3.3％	3.7％	4.2％	4.6％	5.1％
賃金 上昇率 （％）	A	2.3	P7～10 ← P11～14 ← P15～18 ← P19～22 ←					A(a) 医 2.8 賃 2.3 差 0.5	A(b) 医 3.3 賃 2.3 差 1.0	A(c) 医 3.7 賃 2.3 差 1.4	A(d) 医 4.2 賃 2.3 差 1.9		A(e) 医 5.1 賃 2.3 差 2.8
	I	1.8						I a 医 2.3 賃 1.8 差 0.5	I b 医 2.8 賃 1.8 差 1.0	I c 医 3.2 賃 1.8 差 1.4	I d 医 3.7 賃 1.8 差 1.9		I e 医 4.6 賃 1.8 差 2.8
	Ⅱ	1.4						Ⅱ a 医 1.9 賃 1.4 差 0.5	Ⅱ b 医 2.4 賃 1.4 差 1.0	Ⅱ c 医 2.8 賃 1.4 差 1.4	Ⅱ d 医 3.3 賃 1.4 差 1.9		Ⅱ e 医 4.2 賃 1.4 差 2.8
	Ⅲ	0.9						Ⅲ a 医 1.4 賃 0.9 差 0.5	Ⅲ b 医 1.9 賃 0.9 差 1.0	Ⅲ c 医 2.3 賃 0.9 差 1.4	Ⅲ d 医 2.8 賃 0.9 差 1.9		Ⅲ e 医 3.7 賃 0.9 差 2.8
	B	0.0						B(a) 医 0.5 賃 0.0 差 0.5	B(b) 医 1.0 賃 0.0 差 1.0	B(c) 医 1.4 賃 0.0 差 1.4	B(d) 医 1.9 賃 0.0 差 1.9		B(e) 医 2.8 賃 0.0 差 2.8
			P23～26 ←					P3～6 →					

1. 試算結果の概要

① 協会けんぽにおける実績を踏まえた試算

ケースⅠ (b): 賃金上昇率 1.8%
 ケースⅡ (c): 賃金上昇率 1.4%
 ケースⅢ (d): 賃金上昇率 0.9%

○現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

ケース		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,700	5,500	5,000	4,500
	準備金	65,000	70,700	76,400	81,700	86,700	91,300
ケースⅡ	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,200	4,700	3,800	3,000
	準備金	65,000	70,700	76,000	80,500	84,200	87,200
ケースⅢ	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,700	3,700	2,300	1,000
	準備金	65,000	70,700	75,300	79,000	81,300	82,200

○均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

ケース	2026年度 (令和8年度)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ	9.5%	9.5%	9.5%	9.6%	9.6%
ケースⅡ	9.5%	9.5%	9.6%	9.7%	9.7%
ケースⅢ	9.5%	9.6%	9.7%	9.8%	9.9%

注. 2027年以降の賃金上昇率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は2.8%、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ① 協会けんぽにおける実績を踏まえた試算

○保険料率を変更した場合

①2026年度以降 9.9%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ	収支差	6,400	4,600	4,500	4,300	3,800	3,400
	準備金	65,000	69,600	74,100	78,300	82,200	85,500
ケースⅡ	収支差	6,400	4,600	4,100	3,500	2,600	1,800
	準備金	65,000	69,600	73,700	77,100	79,700	81,500
ケースⅢ	収支差	6,400	4,600	3,600	2,500	1,100	▲ 100
	準備金	65,000	69,600	73,100	75,500	76,800	76,600

②2026年度以降 9.8%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ	収支差	6,400	3,400	3,400	3,200	2,700	2,200
	準備金	65,000	68,500	71,800	74,900	77,500	79,700
ケースⅡ	収支差	6,400	3,400	3,000	2,400	1,400	700
	準備金	65,000	68,500	71,300	73,600	75,100	75,700
ケースⅢ	収支差	6,400	3,400	2,400	1,400	0	▲1,300
	準備金	65,000	68,500	70,800	72,100	72,100	71,000

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は2.8%、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ① 協会けんぽにおける実績を踏まえた試算

○保険料率を変更した場合

③2026年度以降 9. 7%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ	収支差	6,400	2,300	2,300	2,000	1,400	1,000
	準備金	65,000	67,300	69,500	71,500	72,900	73,900
ケースⅡ	収支差	6,400	2,300	1,700	1,200	300	▲ 600
	準備金	65,000	67,300	69,100	70,200	70,600	70,000
ケースⅢ	収支差	6,400	2,300	1,200	300	▲1,100	▲2,400
	準備金	65,000	67,300	68,600	68,700	67,600	65,200

④2026年度以降 9. 6%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ	収支差	6,400	1,200	1,000	900	200	▲ 200
	準備金	65,000	66,200	67,200	68,000	68,300	68,100
ケースⅡ	収支差	6,400	1,200	600	100	▲ 900	▲1,700
	準備金	65,000	66,200	66,800	66,800	66,000	64,300
ケースⅢ	収支差	6,400	1,200	100	▲ 900	▲2,200	▲3,600
	準備金	65,000	66,200	66,300	65,400	63,100	59,600

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は2.8%、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ① 協会けんぽにおける実績を踏まえた試算

○保険料率を変更した場合

⑤2026年度以降 9.5%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ	収支差	6,400	100	▲ 100	▲ 300	▲ 900	▲1,300
	準備金	65,000	65,100	65,000	64,600	63,700	62,300
ケースⅡ	収支差	6,400	100	▲ 500	▲1,000	▲2,000	▲2,900
	準備金	65,000	65,100	64,600	63,400	61,400	58,500
ケースⅢ	収支差	6,400	100	▲1,000	▲2,000	▲3,400	▲4,700
	準備金	65,000	65,100	64,100	62,000	58,600	53,900

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は2.8%、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要

② 幅を持った試算

75歳未満の加入者の1人当たり医療給付費の伸び率
 ケースA(a) : 2.8%、ケースA(b) : 3.3%、ケースA(c) : 3.7%、
 ケースA(d) : 4.2%、ケースA(e) : 5.1%

○現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

ケース		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースA(a)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	6,200	6,500	6,500	6,500
	準備金	65,000	70,700	76,900	83,300	89,700	96,300
ケースA(b)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,900	5,900	5,600	5,300
	準備金	65,000	70,700	76,600	82,400	88,000	93,300
ケースA(c)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,700	5,400	4,900	4,300
	準備金	65,000	70,700	76,400	81,700	86,500	90,700
ケースA(d)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,400	4,800	3,800	3,100
	準備金	65,000	70,700	76,100	80,800	84,600	87,700
ケースA(e)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,700	3,700	2,200	700
	準備金	65,000	70,700	75,400	79,100	81,300	81,900

○均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

ケース	2026年度 (令和8年度)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースA(a)	9.5%	9.5%	9.4%	9.5%	9.5%
ケースA(b)	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.6%
ケースA(c)	9.5%	9.5%	9.5%	9.6%	9.6%
ケースA(d)	9.5%	9.5%	9.6%	9.7%	9.8%
ケースA(e)	9.5%	9.6%	9.7%	9.8%	9.9%

注. 2027年以降の賃金上昇率は2.3%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

①2026年度以降 9. 9%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースA(a)	収支差	6,400	4,600	5,100	5,300	5,300	5,300
	準備金	65,000	69,600	74,700	79,800	85,100	90,400
ケースA(b)	収支差	6,400	4,600	4,800	4,700	4,400	4,100
	準備金	65,000	69,600	74,400	79,000	83,400	87,400
ケースA(c)	収支差	6,400	4,600	4,500	4,200	3,700	3,100
	準備金	65,000	69,600	74,100	78,200	81,800	84,900
ケースA(d)	収支差	6,400	4,600	4,200	3,600	2,700	1,800
	準備金	65,000	69,600	73,700	77,400	80,000	81,800
ケースA(e)	収支差	6,400	4,600	3,600	2,600	1,000	▲ 500
	準備金	65,000	69,600	73,200	75,600	76,600	76,100

②2026年度以降 9. 8%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースA(a)	収支差	6,400	3,400	3,900	4,100	4,100	4,100
	準備金	65,000	68,500	72,400	76,400	80,500	84,600
ケースA(b)	収支差	6,400	3,400	3,600	3,500	3,200	2,900
	準備金	65,000	68,500	72,100	75,500	78,600	81,500
ケースA(c)	収支差	6,400	3,400	3,400	3,100	2,400	1,900
	準備金	65,000	68,500	71,700	74,800	77,200	79,100
ケースA(d)	収支差	6,400	3,400	3,000	2,500	1,500	600
	準備金	65,000	68,500	71,400	73,800	75,400	76,000
ケースA(e)	収支差	6,400	3,400	2,400	1,400	▲ 200	▲1,700
	準備金	65,000	68,500	70,900	72,200	72,000	70,200

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は2.3%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

③2026年度以降 9. 7%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースA(a)	収支差	6,400	2,300	2,800	3,000	2,900	2,900
	準備金	65,000	67,300	70,100	73,000	75,800	78,800
ケースA(b)	収支差	6,400	2,300	2,500	2,400	1,900	1,700
	準備金	65,000	67,300	69,700	72,100	74,000	75,700
ケースA(c)	収支差	6,400	2,300	2,100	1,900	1,200	700
	準備金	65,000	67,300	69,500	71,300	72,600	73,200
ケースA(d)	収支差	6,400	2,300	1,800	1,300	300	▲ 600
	準備金	65,000	67,300	69,200	70,400	70,700	70,100
ケースA(e)	収支差	6,400	2,300	1,300	300	▲1,400	▲2,900
	準備金	65,000	67,300	68,600	68,800	67,400	64,400

④2026年度以降 9. 6%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースA(a)	収支差	6,400	1,200	1,600	1,800	1,800	1,700
	準備金	65,000	66,200	67,800	69,600	71,200	72,900
ケースA(b)	収支差	6,400	1,200	1,200	1,200	800	500
	準備金	65,000	66,200	67,500	68,600	69,400	69,800
ケースA(c)	収支差	6,400	1,200	1,000	800	0	▲ 600
	準備金	65,000	66,200	67,200	67,900	67,900	67,400
ケースA(d)	収支差	6,400	1,200	700	200	▲ 900	▲1,800
	準備金	65,000	66,200	66,900	67,000	66,100	64,300
ケースA(e)	収支差	6,400	1,200	100	▲ 900	▲2,500	▲4,200
	準備金	65,000	66,200	66,400	65,400	62,700	58,600

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は2.3%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

⑤2026年度以降 9. 5%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースA(a)	収支差	6,400	100	500	600	600	500
	準備金	65,000	65,100	65,500	66,000	66,600	67,100
ケースA(b)	収支差	6,400	100	100	100	▲ 400	▲ 700
	準備金	65,000	65,100	65,200	65,100	64,800	64,000
ケースA(c)	収支差	6,400	100	▲ 100	▲ 400	▲ 1,100	▲ 1,800
	準備金	65,000	65,100	64,900	64,400	63,300	61,500
ケースA(d)	収支差	6,400	100	▲ 500	▲ 1,000	▲ 2,100	▲ 3,000
	準備金	65,000	65,100	64,600	63,500	61,500	58,500
ケースA(e)	収支差	6,400	100	▲ 1,000	▲ 2,100	▲ 3,700	▲ 5,400
	準備金	65,000	65,100	64,100	61,800	58,100	52,700

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は2.3%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

75歳未満の加入者の1人当たり医療給付費の伸び率
 ケース I a: 2.3%、ケース I b (I): 2.8%、ケース I c: 3.2%、
 ケース I d: 3.7%、ケース I e : 4.6%

○現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

ケース		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケース I (a)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	6,000	6,000	5,900	5,700
	準備金	65,000	70,700	76,700	82,600	88,500	94,300
ケース I (b) (I)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,700	5,500	5,000	4,500
	準備金	65,000	70,700	76,400	81,700	86,700	91,300
ケース I (c)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,400	5,000	4,300	3,600
	準備金	65,000	70,700	76,100	81,000	85,200	88,800
ケース I (d)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,100	4,400	3,300	2,300
	準備金	65,000	70,700	75,800	80,100	83,400	85,800
ケース I (e)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,500	3,300	1,600	0
	準備金	65,000	70,700	75,200	78,400	80,100	80,100

○均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

ケース	2026年度 (令和8年度)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケース I (a)	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%
ケース I (b) (I)	9.5%	9.5%	9.5%	9.6%	9.6%
ケース I (c)	9.5%	9.5%	9.6%	9.6%	9.7%
ケース I (d)	9.5%	9.6%	9.6%	9.7%	9.8%
ケース I (e)	9.5%	9.6%	9.7%	9.9%	10.0%

注. 2027年以降の賃金上昇率は1.8%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

①2026年度以降 9. 9%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースⅠ(a)	収支差	6,400	4,600	4,800	4,900	4,700	4,600
	準備金	65,000	69,600	74,400	79,200	83,900	88,500
ケースⅠ(b)(Ⅰ)	収支差	6,400	4,600	4,500	4,300	3,800	3,400
	準備金	65,000	69,600	74,100	78,300	82,200	85,500
ケースⅠ(c)	収支差	6,400	4,600	4,300	3,800	3,000	2,400
	準備金	65,000	69,600	73,900	77,600	80,600	83,000
ケースⅠ(d)	収支差	6,400	4,600	4,000	3,200	2,100	1,100
	準備金	65,000	69,600	73,500	76,600	78,800	79,900
ケースⅠ(e)	収支差	6,400	4,600	3,300	2,200	500	▲1,200
	準備金	65,000	69,600	72,900	75,000	75,500	74,300

②2026年度以降 9. 8%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースⅠ(a)	収支差	6,400	3,400	3,700	3,700	3,600	3,400
	準備金	65,000	68,500	72,200	75,800	79,400	82,700
ケースⅠ(b)(Ⅰ)	収支差	6,400	3,400	3,400	3,200	2,700	2,200
	準備金	65,000	68,500	71,800	74,900	77,500	79,700
ケースⅠ(c)	収支差	6,400	3,400	3,200	2,700	1,900	1,200
	準備金	65,000	68,500	71,500	74,200	76,100	77,300
ケースⅠ(d)	収支差	6,400	3,400	2,800	2,100	1,000	▲ 100
	準備金	65,000	68,500	71,200	73,200	74,300	74,200
ケースⅠ(e)	収支差	6,400	3,400	2,200	1,000	▲ 700	▲2,400
	準備金	65,000	68,500	70,700	71,600	70,900	68,500

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は1.8%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

③2026年度以降 9. 7%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ(a)	収支差	6,400	2,300	2,600	2,600	2,400	2,200
	準備金	65,000	67,300	69,800	72,400	74,700	76,900
ケースⅠ(b)(Ⅰ)	収支差	6,400	2,300	2,300	2,000	1,400	1,000
	準備金	65,000	67,300	69,500	71,500	72,900	73,900
ケースⅠ(c)	収支差	6,400	2,300	1,900	1,500	700	0
	準備金	65,000	67,300	69,300	70,700	71,500	71,400
ケースⅠ(d)	収支差	6,400	2,300	1,600	900	▲ 200	▲1,300
	準備金	65,000	67,300	69,000	69,800	69,600	68,300
ケースⅠ(e)	収支差	6,400	2,300	1,100	▲ 100	▲1,800	▲3,500
	準備金	65,000	67,300	68,400	68,200	66,200	62,700

④2026年度以降 9. 6%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ(a)	収支差	6,400	1,200	1,400	1,400	1,200	1,000
	準備金	65,000	66,200	67,500	69,000	70,100	71,100
ケースⅠ(b)(Ⅰ)	収支差	6,400	1,200	1,000	900	200	▲ 200
	準備金	65,000	66,200	67,200	68,000	68,300	68,100
ケースⅠ(c)	収支差	6,400	1,200	800	400	▲ 500	▲1,200
	準備金	65,000	66,200	67,000	67,300	66,800	65,700
ケースⅠ(d)	収支差	6,400	1,200	500	▲ 200	▲1,400	▲2,500
	準備金	65,000	66,200	66,700	66,400	65,000	62,600
ケースⅠ(e)	収支差	6,400	1,200	▲ 100	▲1,300	▲3,000	▲4,800
	準備金	65,000	66,200	66,200	64,800	61,700	57,000

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は1.8%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

⑤2026年度以降 9.5%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅠ(a)	収支差	6,400	100	200	300	0	▲ 100
	準備金	65,000	65,100	65,300	65,500	65,500	65,400
ケースⅠ(b)(Ⅰ)	収支差	6,400	100	▲ 100	▲ 300	▲ 900	▲ 1,300
	準備金	65,000	65,100	65,000	64,600	63,700	62,300
ケースⅠ(c)	収支差	6,400	100	▲ 400	▲ 800	▲ 1,600	▲ 2,400
	準備金	65,000	65,100	64,700	63,900	62,200	59,800
ケースⅠ(d)	収支差	6,400	100	▲ 700	▲ 1,400	▲ 2,500	▲ 3,600
	準備金	65,000	65,100	64,400	63,000	60,500	56,800
ケースⅠ(e)	収支差	6,400	100	▲ 1,200	▲ 2,400	▲ 4,200	▲ 6,000
	準備金	65,000	65,100	63,900	61,300	57,100	51,100

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は1.8%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

75歳未満の加入者の1人当たり医療給付費の伸び率
 ケースⅡa: 1.9%、ケースⅡb: 2.4%、ケースⅡc(Ⅱ): 2.8%、
 ケースⅡd: 3.3%、ケースⅡe: 4.2%

○現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

ケース		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅡ(a)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,800	5,700	5,400	5,100
	準備金	65,000	70,700	76,500	82,100	87,500	92,700
ケースⅡ(b)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,500	5,100	4,500	4,000
	準備金	65,000	70,700	76,200	81,200	85,800	89,700
ケースⅡ(c)(Ⅱ)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,200	4,700	3,800	3,000
	準備金	65,000	70,700	76,000	80,500	84,200	87,200
ケースⅡ(d)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,900	4,100	2,800	1,800
	準備金	65,000	70,700	75,700	79,600	82,500	84,200
ケースⅡ(e)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,300	3,000	1,200	▲ 600
	準備金	65,000	70,700	75,000	77,900	79,100	78,600

○均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

ケース	2026年度 (令和8年度)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅡ(a)	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.6%
ケースⅡ(b)	9.5%	9.5%	9.5%	9.6%	9.7%
ケースⅡ(c)(Ⅱ)	9.5%	9.5%	9.6%	9.7%	9.7%
ケースⅡ(d)	9.5%	9.6%	9.6%	9.8%	9.9%
ケースⅡ(e)	9.5%	9.6%	9.7%	9.9%	10.1%

注. 2027年以降の賃金上昇率は1.4%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

①2026年度以降 9.9%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅡ(a)	収支差	6,400	4,600	4,700	4,600	4,300	4,000
	準備金	65,000	69,600	74,200	78,700	83,000	86,900
ケースⅡ(b)	収支差	6,400	4,600	4,400	4,000	3,400	2,800
	準備金	65,000	69,600	73,900	77,800	81,100	83,900
ケースⅡ(c)(Ⅱ)	収支差	6,400	4,600	4,100	3,500	2,600	1,800
	準備金	65,000	69,600	73,700	77,100	79,700	81,500
ケースⅡ(d)	収支差	6,400	4,600	3,800	2,900	1,700	500
	準備金	65,000	69,600	73,300	76,100	77,900	78,400
ケースⅡ(e)	収支差	6,400	4,600	3,200	1,900	100	▲1,700
	準備金	65,000	69,600	72,800	74,500	74,600	72,900

②2026年度以降 9.8%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅡ(a)	収支差	6,400	3,400	3,500	3,400	3,100	2,800
	準備金	65,000	68,500	72,000	75,300	78,400	81,200
ケースⅡ(b)	収支差	6,400	3,400	3,200	2,800	2,200	1,600
	準備金	65,000	68,500	71,600	74,400	76,600	78,200
ケースⅡ(c)(Ⅱ)	収支差	6,400	3,400	3,000	2,400	1,400	700
	準備金	65,000	68,500	71,300	73,600	75,100	75,700
ケースⅡ(d)	収支差	6,400	3,400	2,600	1,800	500	▲600
	準備金	65,000	68,500	71,000	72,700	73,300	72,700
ケースⅡ(e)	収支差	6,400	3,400	2,000	700	▲1,100	▲2,900
	準備金	65,000	68,500	70,500	71,100	70,000	67,100

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は1.4%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

③2026年度以降 9.7%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅡ(a)	収支差	6,400	2,300	2,400	2,300	2,000	1,700
	準備金	65,000	67,300	69,600	71,900	73,800	75,400
ケースⅡ(b)	収支差	6,400	2,300	2,100	1,700	1,000	500
	準備金	65,000	67,300	69,300	70,900	72,000	72,500
ケースⅡ(c)(Ⅱ)	収支差	6,400	2,300	1,700	1,200	300	▲ 600
	準備金	65,000	67,300	69,100	70,200	70,600	70,000
ケースⅡ(d)	収支差	6,400	2,300	1,400	600	▲ 600	▲1,800
	準備金	65,000	67,300	68,800	69,300	68,700	66,900
ケースⅡ(e)	収支差	6,400	2,300	900	▲ 400	▲2,200	▲4,000
	準備金	65,000	67,300	68,200	67,700	65,400	61,400

④2026年度以降 9.6%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅡ(a)	収支差	6,400	1,200	1,300	1,100	800	500
	準備金	65,000	66,200	67,400	68,500	69,200	69,700
ケースⅡ(b)	収支差	6,400	1,200	900	600	▲ 200	▲ 700
	準備金	65,000	66,200	67,100	67,500	67,500	66,700
ケースⅡ(c)(Ⅱ)	収支差	6,400	1,200	600	100	▲ 900	▲1,700
	準備金	65,000	66,200	66,800	66,800	66,000	64,300
ケースⅡ(d)	収支差	6,400	1,200	300	▲ 500	▲1,800	▲2,900
	準備金	65,000	66,200	66,500	65,900	64,200	61,200
ケースⅡ(e)	収支差	6,400	1,200	▲ 200	▲1,600	▲3,400	▲5,300
	準備金	65,000	66,200	66,000	64,300	60,800	55,700

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は1.4%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

⑤2026年度以降 9.5%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅡ(a)	収支差	6,400	100	0	0	▲ 400	▲ 600
	準備金	65,000	65,100	65,100	65,000	64,700	64,000
ケースⅡ(b)	収支差	6,400	100	▲ 300	▲ 600	▲1,300	▲1,800
	準備金	65,000	65,100	64,800	64,100	62,800	61,000
ケースⅡ(c)(Ⅱ)	収支差	6,400	100	▲ 500	▲1,000	▲2,000	▲2,900
	準備金	65,000	65,100	64,600	63,400	61,400	58,500
ケースⅡ(d)	収支差	6,400	100	▲ 800	▲1,600	▲2,900	▲4,100
	準備金	65,000	65,100	64,300	62,500	59,600	55,500
ケースⅡ(e)	収支差	6,400	100	▲1,400	▲2,700	▲4,500	▲6,400
	準備金	65,000	65,100	63,700	60,800	56,300	49,900

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は1.4%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要

② 幅を持った試算

75歳未満の加入者の1人当たり医療給付費の伸び率
 ケースⅢa : 1.4%、ケースⅢb: 1.9%、ケースⅢc: 2.3%、
 ケースⅢd(Ⅲ): 2.8%、ケースⅢe: 3.7%

○現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

ケース		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅢ(a)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,600	5,300	4,800	4,400
	準備金	65,000	70,700	76,300	81,500	86,300	90,700
ケースⅢ(b)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,300	4,700	4,000	3,200
	準備金	65,000	70,700	76,000	80,600	84,500	87,800
ケースⅢ(c)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,000	4,200	3,300	2,300
	準備金	65,000	70,700	75,700	79,900	83,000	85,300
ケースⅢ(d)(Ⅲ)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,700	3,700	2,300	1,000
	準備金	65,000	70,700	75,300	79,000	81,300	82,200
ケースⅢ(e)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,100	2,600	700	▲1,200
	準備金	65,000	70,700	74,800	77,300	78,000	76,700

○均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

ケース	2026年度 (令和8年度)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅢ(a)	9.5%	9.5%	9.5%	9.6%	9.6%
ケースⅢ(b)	9.5%	9.5%	9.6%	9.7%	9.7%
ケースⅢ(c)	9.5%	9.6%	9.6%	9.7%	9.8%
ケースⅢ(d)(Ⅲ)	9.5%	9.6%	9.7%	9.8%	9.9%
ケースⅢ(e)	9.5%	9.6%	9.8%	9.9%	10.1%

注. 2027年以降の賃金上昇率は0.9%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要

② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

①2026年度以降 9.9%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅢ(a)	収支差	6,400	4,600	4,400	4,200	3,700	3,300
	準備金	65,000	69,600	74,000	78,100	81,800	85,000
ケースⅢ(b)	収支差	6,400	4,600	4,100	3,600	2,800	2,100
	準備金	65,000	69,600	73,700	77,200	79,900	82,000
ケースⅢ(c)	収支差	6,400	4,600	3,900	3,100	2,000	1,100
	準備金	65,000	69,600	73,400	76,500	78,500	79,700
ケースⅢ(d)(Ⅲ)	収支差	6,400	4,600	3,600	2,500	1,100	▲ 100
	準備金	65,000	69,600	73,100	75,500	76,800	76,600
ケースⅢ(e)	収支差	6,400	4,600	2,900	1,500	▲ 500	▲2,300
	準備金	65,000	69,600	72,500	73,900	73,400	71,100

②2026年度以降 9.8%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅢ(a)	収支差	6,400	3,400	3,300	3,000	2,600	2,100
	準備金	65,000	68,500	71,800	74,700	77,300	79,400
ケースⅢ(b)	収支差	6,400	3,400	3,000	2,500	1,700	1,000
	準備金	65,000	68,500	71,400	73,800	75,400	76,400
ケースⅢ(c)	収支差	6,400	3,400	2,800	2,000	900	0
	準備金	65,000	68,500	71,100	73,000	74,000	73,900
ケースⅢ(d)(Ⅲ)	収支差	6,400	3,400	2,400	1,400	0	▲1,300
	準備金	65,000	68,500	70,800	72,100	72,100	71,000
ケースⅢ(e)	収支差	6,400	3,400	1,800	400	▲1,600	▲3,500
	準備金	65,000	68,500	70,300	70,500	68,900	65,300

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は0.9%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要

② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

③2026年度以降 9.7%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅢ(a)	収支差 準備金	6,400 65,000	2,300 67,300	2,200 69,400	1,900 71,300	1,400 72,600	1,000 73,600
ケースⅢ(b)	収支差 準備金	6,400 65,000	2,300 67,300	1,900 69,100	1,300 70,300	500 70,900	▲ 200 70,700
ケースⅢ(c)	収支差 準備金	6,400 65,000	2,300 67,300	1,500 68,900	900 69,600	▲ 200 69,500	▲1,200 68,300
ケースⅢ(d)(Ⅲ)	収支差 準備金	6,400 65,000	2,300 67,300	1,200 68,600	300 68,700	▲1,100 67,600	▲2,400 65,200
ケースⅢ(e)	収支差 準備金	6,400 65,000	2,300 67,300	700 68,000	▲ 800 67,100	▲2,700 64,300	▲4,600 59,700

④2026年度以降 9.6%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅢ(a)	収支差 準備金	6,400 65,000	1,200 66,200	1,000 67,200	800 67,800	300 68,100	▲ 100 68,000
ケースⅢ(b)	収支差 準備金	6,400 65,000	1,200 66,200	600 66,900	200 67,000	▲ 700 66,400	▲1,300 65,000
ケースⅢ(c)	収支差 準備金	6,400 65,000	1,200 66,200	400 66,600	▲ 300 66,200	▲1,400 64,900	▲2,400 62,600
ケースⅢ(d)(Ⅲ)	収支差 準備金	6,400 65,000	1,200 66,200	100 66,300	▲ 900 65,400	▲2,200 63,100	▲3,600 59,600
ケースⅢ(e)	収支差 準備金	6,400 65,000	1,200 66,200	▲ 400 65,800	▲1,900 63,800	▲3,900 59,800	▲5,800 54,100

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は0.9%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要

② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

⑤2026年度以降 9.5%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースⅢ(a)	収支差	6,400	100	▲ 200	▲ 400	▲ 900	▲1,300
	準備金	65,000	65,100	64,900	64,500	63,600	62,300
ケースⅢ(b)	収支差	6,400	100	▲ 500	▲ 900	▲1,800	▲2,500
	準備金	65,000	65,100	64,600	63,600	61,800	59,300
ケースⅢ(c)	収支差	6,400	100	▲ 700	▲1,400	▲2,500	▲3,500
	準備金	65,000	65,100	64,400	62,900	60,400	56,900
ケースⅢ(d)(Ⅲ)	収支差	6,400	100	▲1,000	▲2,000	▲3,400	▲4,700
	準備金	65,000	65,100	64,100	62,000	58,600	53,900
ケースⅢ(e)	収支差	6,400	100	▲1,600	▲3,000	▲5,000	▲7,000
	準備金	65,000	65,100	63,500	60,300	55,300	48,300

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は0.9%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

75歳未満の加入者の1人当たり医療給付費の伸び率
 ケースB(a)：0.5%、ケースB(b)：1.0%、ケースB(c)：1.4%、
 ケースB(d)：1.9%、ケースB(e)：2.8%

○現在の保険料率（10%）を据え置いた場合

（単位：億円）

ケース		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースB(a)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	5,100	4,500	3,800	3,100
	準備金	65,000	70,700	75,800	80,300	84,100	87,200
ケースB(b)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,800	4,000	3,000	1,900
	準備金	65,000	70,700	75,500	79,400	82,400	84,300
ケースB(c)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,600	3,500	2,200	1,000
	準備金	65,000	70,700	75,300	78,700	80,900	81,900
ケースB(d)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	4,300	2,900	1,300	▲ 200
	準備金	65,000	70,700	74,900	77,800	79,100	78,900
ケースB(e)	保険料率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	収支差	6,400	5,700	3,600	1,900	▲ 300	▲2,400
	準備金	65,000	70,700	74,400	76,200	75,900	73,500

○均衡保険料率（単年度収支が均衡する保険料率）

ケース	2026年度 (令和8年度)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースB(a)	9.5%	9.5%	9.6%	9.7%	9.7%
ケースB(b)	9.5%	9.6%	9.6%	9.7%	9.8%
ケースB(c)	9.5%	9.6%	9.7%	9.8%	9.9%
ケースB(d)	9.5%	9.6%	9.7%	9.9%	10.0%
ケースB(e)	9.5%	9.7%	9.8%	10.0%	10.2%

注. 2027年以降の賃金上昇率は0.0%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

①2026年度以降 9. 9%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースB(a)	収支差	6,400	4,600	4,000	3,400	2,700	2,000
	準備金	65,000	69,600	73,600	76,900	79,600	81,600
ケースB(b)	収支差	6,400	4,600	3,700	2,900	1,900	900
	準備金	65,000	69,600	73,300	76,100	77,800	78,700
ケースB(c)	収支差	6,400	4,600	3,500	2,400	1,100	▲ 100
	準備金	65,000	69,600	73,000	75,400	76,400	76,400
ケースB(d)	収支差	6,400	4,600	3,100	1,800	200	▲1,300
	準備金	65,000	69,600	72,700	74,400	74,700	73,400
ケースB(e)	収支差	6,400	4,600	2,500	800	▲1,400	▲3,500
	準備金	65,000	69,600	72,100	72,800	71,400	67,900

②2026年度以降 9. 8%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
ケースB(a)	収支差	6,400	3,400	2,900	2,300	1,600	900
	準備金	65,000	68,500	71,400	73,600	75,100	76,000
ケースB(b)	収支差	6,400	3,400	2,600	1,800	600	▲ 200
	準備金	65,000	68,500	71,000	72,700	73,400	73,100
ケースB(c)	収支差	6,400	3,400	2,300	1,300	0	▲1,200
	準備金	65,000	68,500	70,700	71,900	72,000	70,700
ケースB(d)	収支差	6,400	3,400	2,000	700	▲ 900	▲2,400
	準備金	65,000	68,500	70,400	71,000	70,100	67,800
ケースB(e)	収支差	6,400	3,400	1,400	▲ 300	▲2,500	▲4,600
	準備金	65,000	68,500	69,900	69,500	67,000	62,300

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は0.0%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

③2026年度以降 9. 7%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースB(a)	収支差	6,400	2,300	1,800	1,200	500	▲ 200
	準備金	65,000	67,300	69,000	70,200	70,600	70,400
ケースB(b)	収支差	6,400	2,300	1,400	600	▲ 500	▲1,300
	準備金	65,000	67,300	68,700	69,300	68,900	67,500
ケースB(c)	収支差	6,400	2,300	1,100	200	▲1,100	▲2,400
	準備金	65,000	67,300	68,500	68,600	67,400	65,200
ケースB(d)	収支差	6,400	2,300	800	▲ 400	▲2,000	▲3,500
	準備金	65,000	67,300	68,200	67,700	65,700	62,200
ケースB(e)	収支差	6,400	2,300	300	▲1,400	▲3,600	▲5,700
	準備金	65,000	67,300	67,600	66,100	62,400	56,700

④2026年度以降 9. 6%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースB(a)	収支差	6,400	1,200	700	100	▲ 700	▲1,300
	準備金	65,000	66,200	66,800	66,800	66,200	64,900
ケースB(b)	収支差	6,400	1,200	300	▲ 500	▲1,600	▲2,400
	準備金	65,000	66,200	66,500	65,900	64,500	61,900
ケースB(c)	収支差	6,400	1,200	0	▲ 900	▲2,200	▲3,400
	準備金	65,000	66,200	66,200	65,200	63,000	59,600
ケースB(d)	収支差	6,400	1,200	▲ 300	▲1,500	▲3,100	▲4,600
	準備金	65,000	66,200	65,900	64,300	61,200	56,600
ケースB(e)	収支差	6,400	1,200	▲ 800	▲2,500	▲4,700	▲6,900
	準備金	65,000	66,200	65,400	62,800	58,000	51,200

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は0.0%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。

1. 試算結果の概要 ② 幅を持った試算

○保険料率を変更した場合

⑤2026年度以降 9. 5%

(単位：億円)

賃金上昇率		2025年度 (令和7年度)	2026 (R 8)	2027 (R 9)	2028 (R 10)	2029 (R 11)	2030 (R 12)
ケースB(a)	収支差	6,400	100	▲ 600	▲1,000	▲1,800	▲2,400
	準備金	65,000	65,100	64,500	63,400	61,700	59,300
ケースB(b)	収支差	6,400	100	▲ 900	▲1,600	▲2,700	▲3,600
	準備金	65,000	65,100	64,200	62,600	59,900	56,400
ケースB(c)	収支差	6,400	100	▲1,100	▲2,000	▲3,300	▲4,500
	準備金	65,000	65,100	64,000	61,900	58,500	54,000
ケースB(d)	収支差	6,400	100	▲1,400	▲2,600	▲4,200	▲5,700
	準備金	65,000	65,100	63,700	61,000	56,800	51,100
ケースB(e)	収支差	6,400	100	▲1,900	▲3,700	▲5,800	▲7,900
	準備金	65,000	65,100	63,200	59,300	53,500	45,600

注. 上記の試算結果は、保険料率の変更に伴う加入者数等の変動は考慮していない。

注. 2027年以降の賃金上昇率は0.0%、2027年以降の75歳未満の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は各ケースごとに設定、2027年以降の75歳以上の加入者一人当たり医療給付費の伸び率は0.6%、「日本の将来推計人口」(2023年4月 国立社会保障・人口問題研究所)出生中位(死亡中位)を前提とした試算。